

## 人を惹きつける本帯の条件とは

国語班:菊池 萌花、国広 瑠衣

### 要約

本研究の目的は、買い手に購買意欲を最も掻き立てられる本帯の条件を、PASONAの法則と本帯の4つの型を用いて定義することである。本研究では、本帯の文章にはPASONAの法則はビジネス書以外用いられておらず、本帯の4つの型によって分類した。結果として、雰囲気型が最も多く用いられており、続いて剛速球型、説明型の順に多く用いられていることがわかった。また、雰囲気型と剛速球型を併用した文章も多く見られた。人の興味をより惹きつける本帯は、雰囲気型と剛速球型の文章を用いて作ることができる。

### 1. はじめに

読書に関連する研究テーマを考えていた際に、読書についてのアンケートの統計結果を記載した記事を見つけた。その中の問いの一つである『本を買うきっかけは？』(2012年10月5日～10月11日/3299人対象/複数選択可)という質問に対して、全体の約48%が「書店で何となく」と回答し、最も多くの割合を占めていた。我々はこのことに興味を持ち、上記の結果となった理由を考えた。購入する本が具体的に決まっていな人が購入するものを選択する際、一般的に注目されるのは書店に設置された、本の宣伝文や紹介文である。そこで私達は、宣伝文や紹介文の代表例とされる、「本帯」に焦点を当て、本帯が購買者にどのような影響を与えるのかということについて研究することにした。(今回の研究では、買い手が平積みまたは本棚に立てかけている本の本帯を見ることを前提とするため、ここでの研究対象はすべて本帯の表面に記載された文章のみとする)

### 2. 研究手法

本帯に記載されている文章の種類を4種類に分ける。

それに加え買い手の購買意欲向上に必要なとされる条件であるPASONAの法則を無作為に選出した約120冊の本帯に当てはめ、合致した条件の結果を元に考察し、人の興味を惹きつける(購買意欲を高める)文章の条件を調べる。

#### 本帯の4つの文章

- ①剛速球型(売上やメディア化に関する情報を記載)  
ex)「9カ国で累計80万部突破!」「全米が泣いた」
- ②説明型(端的に作品のジャンルや話の内容等を説明する)  
ex)「超本格ハードSF」「新人賞受賞の気鋭が放つ」
- ③雰囲気型(作品内に登場するセリフや詩的な表現等で魅力を伝える)  
ex)「『今から晴れるよ』」
- ④推薦型(著名人からの推薦文やサイト内の口コミを記載)  
ex)「○○氏推薦!...(以下寄稿文が続く)」

#### PASONAの法則

経営コンサルタントの神田冒典氏が提唱する、マーケティングにおける買い手の購買意欲を高める6つの文章技術のこと。

Problem: 問題

ex)「最近、肌のくすみが気になってきたと感じませんか？」

Affinity: 親近感

ex)「いつまでも若さを保つ友人を羨ましい...と感じたことはありませんか？」

Solution: 解決策

ex)「乾燥肌さんのためのオールインワンジェルがついに登場!これさえあればもう安心です」

Offer: 提案

ex)「通常価格2980円ですが、実は無料お試しプランをご用意しております」

Narrowing down : 絞り込み

ex)「無料お試しプランは、本ページをご覧になられているお客様から先着100名様のみ受け付けております」

Action : 行動

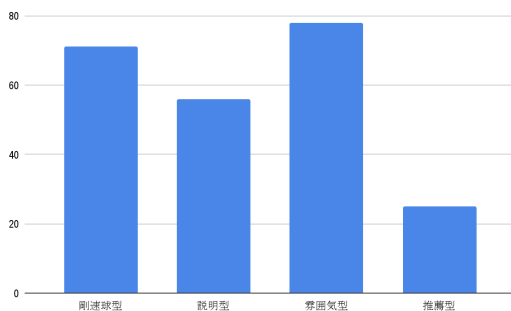
ex)「お試しはこちらから！無くなる前に今すぐお申し込みください！！」

### 3. 結果

4種類に分けた本帯の中だと、③雰囲気型が最も多く、④推薦型が最も少なかった。また、本帯に記載されている文字数が多いほど多くの種類の文章が確認でき、ワンフレーズのための記載だと③が最も多く選出されていた。

2つ以上の種類を用いているものだと、①剛速球型③雰囲気型の2つが最も多かった。

PASONAの法則を反映していると思われるものは、ビジネス関係の書籍以外には殆ど見られなかった。



### 4. 考察

4種類に分けた本帯の種類の中で、④推薦型が最も少なかった理由としては寄稿依頼の際にかかる依頼料等の問題が考えられる。

またPASONAの法則を使用していた書籍がビジネスや政治関連の書籍の本帯にみられ、小説等には確認できなかった理由として、小説はビジネス書よりも読者の性別や年齢、職種を意図的に設定して販売することが少なく、ポストイン等を用いてターゲット層を絞ることを前提として使用されるPASONAの法則を反映しにくいと思われる。

### 5. 結論

本帯に記載されている文章は大きく4つに分類することができた。それらはどれも違う視点から本の持つ魅力を端的に買い手に伝えることができ、購入のきっかけに繋がっている。

また今回の研究では、どのジャンルに関わらず①剛速球型③雰囲気型の組み合わせが最も多かったことから、売上や賞の受賞等の具体例を用いて実績を伝えるものと、抽象的な言葉選びで書籍の内容を伝えるものを同時に記載することが購買意欲を高めることに効果的だと言える。

ただ本研究では約100冊ほどの本帯の文章を分析し考察しただけであり、売上や刷数を比較するといった調査は行っていないため、どのような本帯の文章が購買意欲を高めるのか、つまりどのように売上の上昇に繋がっているのかという疑問の答えはまだ導かれていないと言える。

### 6. 参考文献ならびに参考Webページ

東京創元社発のひとりごと 第4回(執筆者・東京創元社編集部F)

<https://honyakumystery.hatenadiary.org/entry/20100315/1267749779>

2021・7・19 閲覧

神田昌典、『稼ぐ言葉の法則―「新PASONAの法則」と売れる公式41』,ダイヤモンド社,2014

神田昌典、『禁断のセールスコピーライティング』,フォレスト出版,2016

## 参考書籍

- 『貝に続く場所にて』石沢麻衣  
『+1cm たった1cmの差があなたの世界をがらりと変える』キム・ウンジュ  
『FACT FULLNESS』ハンス・ロスリング  
『なぜ僕らは働くのか』池上彰  
『父が娘に語る美しく、深く、とんでもなくわかりやすい経済の話。』ヤニス・バルファキス  
『ロボジョ!』稲穂健市  
『日本古来最強の引き寄せ 予約のすすめ 前祝いの法則』大嶋啓介、ひすいこたろう  
『一人称単数』村上春樹  
『滅びの前のシャングリラ』風良ゆう  
『心淋し川』西條奈加  
『現代語訳 論語と算盤 渋沢栄一』守屋淳  
『LGBTとハラスメント』神谷悠一 松岡宗嗣  
『夜を乗り越える』又吉直樹  
『その「つぶやき」は犯罪です知らないとマズいネットの法律知識』鳥飼重和  
『新型コロナの科学 ハンドミック、そして共生の未来へ』黒木登夫  
『宇宙飛行士選抜試験 ファイナリストの消えない記憶』内山崇  
『人一倍時間がかかる人のためのすぐ書ける文章術 ムダのない大人の文章が書ける』吉田裕子  
『小説イタリヤ・ルネサンス2フィレンツェ』塩野七生  
『密やかな結晶』小川洋子  
『すごい実験』多田将  
『世界の日本語学習者(64カ国・地域の112人)が書いたユニークな「日本文化」論「日本」って、どんな国?「日本人」って、どんな人?』大森和夫・大森弘子  
『仙台ぐらし』伊坂幸太郎  
『本日はどうされました?』加藤元  
『ももこの世界あっちこちめぐり』さくらももこ  
『よだかの片想い』島本理生  
『漂砂の塔』大沢在昌  
『東京藝大 仏さま研究室』樹原アンミツ  
『やりたいことを全部やる! 言葉術』臼井由妃  
『戦略読書』三谷宏治  
『経営パワーの危機 会社再生企業変革ドラマ』三枝匡  
『社員が病む職場、幸せになる職場』ジェフリー・フェファー  
『絶対に休めない医師がやっているコロナ対応版最強の体調管理』大谷義夫  
『ケインズ 説得論集』ジョン・メイナード・ケインズ  
『ユニクロ対ZARA』齊藤孝浩  
『サントリー対キリン』永井隆  
『悟りに到る道』大川隆法  
『歎異抄をひらく』高森顕徹  
『防大女子 究極の男性組織に飛び込んだ女性たち』松田小牧  
『俺たちの定年後成毛流・60歳からの生き方指南』成毛眞  
『知れば知るほど面白い 古代韓国の歴史と英雄』康熙奉  
『火花』又吉直樹  
『英文法再入門10のハードルの飛び越え方』澤井康佑  
『夜は短し歩けよ乙女』森見登美彦  
『そして、バトンは渡された』瀬尾まいこ  
『崩れる脳を抱きしめて』知念実希人  
『天使は奇跡を希う』七月隆文  
『英単語の語源図鑑見るだけで語彙が増える』清水健二・すずきひろし  
『腸がすべて』フランク・ラポルト・アダムスキー

『きっと明日はいい日になる』田口久人  
『「育ちがいい人」だけが知っていること』諏内えみ  
『結局、「すぐやる人」がすべてを手に入れる』藤由達蔵  
『すぐ書ける文章術』吉田裕子  
『文章力の基本』阿部紘久  
『13歳から身につける一生モノの文章術』近藤勝重  
『毎日新聞・校閲グループのミスがなくなるすごい文章術』岩佐義樹  
『研究者のコピペと捏造』時実象一  
『論理的思考力を鍛える33の思考実験』木村良子  
『星落ちて、なお』深田瞳子  
『ミスエデュケーション』エミリー・M・ダンフォース  
『彼岸花が咲く島』李琴峰  
『一度読んだら絶対に忘れない日本史の教科書』山崎圭一  
『33歳の決断で有名企業500社を育てた渋沢栄一の折れない心を作る33の教え』渋澤健  
『学びを結果に変えるアウトプット大全』樺沢紫苑  
『16歳からの初めてのゲーム』鎌田雄一郎  
『分断社会と若者の今』吉川徹  
『超ひも理論をパパに習ってみた』橋本幸士  
『女子高生と魔法のノート』角谷ケンイチ  
『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』ブレイディみかこ  
『米澤屋書店』米澤穂信  
『ミチクサ先生 下』伊集院静  
『黄金旅程』馳星周  
『熔果』黒川博行  
『円』劉慈欣  
『同志少女よ敵を撃て』逢坂冬馬  
『パラソルでパラシュート』一穂ミチ  
『神曲』川村元気  
『夜が明ける』西加奈子  
『情報生産者になってみたー上野鶴子に極意を学ぶ』上野ゼミ卒業生チーム  
『老人支配国家日本の危機』エマニュエル・トッド  
『コロナワクチンの全貌』小林よしのり 井上正義  
『自分の〈ことば〉をつくる あなたにしか語れないことを表現する技術』細川英雄  
『愛なき世界 上』三浦しをん  
『私の美しい庭』風良ゆう  
『日本のジーパン』林芳亭  
『数学独学法』富島佑允  
『最強マフィアの仕事術』マイケル・フランゼーゼ 花塚恵  
『6RULES OF戦略PR世の中を動かす新しい6つの法則』本田哲也  
『彼女が最後に見たものは』まさきとしたか  
『おばちゃんたちのいるところ』松田青子  
『小説の惑星』伊坂幸太郎  
『フーガはユーガ』伊坂幸太郎  
『脳科学者の母が、認知症になる』恩蔵絢子  
『21LESSONS』ユヴェル・ノア・ハラリ 柴田裕之  
『テヘランでロリータを読む』アーザル・ナフィーシー 市川恵理  
『討ち入りたくない内蔵助』白蔵盈太  
『1972からの来訪』黒川甚平  
『凶状持』藤井邦夫  
『ナナメの夕暮れ』若林正恭  
『夏至のウルフ』柏木伸介

『牙』三浦英之  
『恵比寿屋喜兵衛手控え』佐藤雅美  
『妖し火』佐々木裕一  
『江戸の雷神』鈴木英治  
『あちらにいる鬼』井上荒野  
『ヒポクラテスの試練』中山七里  
『らんちう』赤松利市  
『永久を誓う恋人 上』J・R・ウォード 安原和見  
『天下小僧壱之助』鷹井伶  
『君の名前の横顔』河野裕  
『ワンダフル・ライフ』丸山正樹  
『六人の嘘つき大学』浅倉秋成  
『兇人邸の殺人』今村昌弘  
『星を掬う』町田そのこ  
『残照の頂 続・山女日記』湊かなえ  
『民王 シベリアの陰謀』池井戸潤  
『残月記』小田雅久仁  
『赫衣の闇』三津田信三  
『月曜日の抹茶カフェ』青山美智子  
『愛じゃないならこれは何』斜線堂有紀  
『心霊探偵八雲 魂の素数』神永学  
『夜行秘書』カツセマサヒコ  
『御坊日々』畠中恵  
『薔薇色の門／誘惑 遠藤周作初期中篇』遠藤周作  
『7.5グラムの奇跡』砥上裕将  
『私達は、月がきれいだねと囁き合うことさえできない』神田漣